

「岸和田市新庁舎整備事業設計施工業務の経緯について」

1. プロポーザルの概要

- (ア) プロポーザルの公示 : 6月8日
- (イ) 参加者受付 : 7月6日～7月17日（受付期間）
  - ・3者の事業者が応募し、参加資格を満たす。
- (ウ) 一次審査 : 9月15日（書類審査）
  - ・3者の事業者が審査通過。
- (エ) 二次審査 : 12月27日（プレゼン・ヒアリング・書類審査）
  - ・二次審査資料提出後、プロポーザル実施要領の失格事項に抵触した事実が判明したため、2者を失格処分。
  - ・二次審査（12月4日）開催直前の処分決定で、事前に委員への相談する時間が無かったことに外部委員が反発し、招集困難となり、二次審査の日程を延期。
  - ・外部委員4名の辞任に伴い、まちづくり推進部長、建設部長を新たに選任し、二次審査を実施。
  - ・1者による審査を実施し、受注候補者を特定。

2. 受注候補者の選定

- (ア) 受注候補者 梓・隈・大成・矢野共同企業体
- (イ) 仮契約 令和3年1月29日締結（議案否決後、廃案）

3. 岸和田市新庁舎整備事業設計施工業務の見直し

- (ア) 議案の否決
  - ・令和3年第1回定例会議（3月4日）にて、議案（工事請負契約の締結について）が否決（賛成3、反対20）
  - ・二次審査に係る経緯、国土地理院による新たな活断層の公表（令和2年11月公表）を懸念。
- (イ) 今後の庁舎建替えについて
  - ・令和2年度中の実施設計着手（市町村役場機能緊急保全事業の条件）が出来なくなったため、財源確保が困難。
  - ・基本計画策定後に判明した、活断層の直下（と予測されている）、高潮浸水想定区域内であることへの対応。（対市民感情）
  - ・現在の庁舎は危険な状況であり、建て替えは急ぐ必要がある。
  - ・どこまで遡り庁舎建替えを検討するのか、至急、市として意思決定する必要がある。